

サステナビリティ活動

WATER

水を次世代に引き継ぐために

「水と生きる」を「Promise/社会との約束」に掲げる企業として、「水のサステナビリティ」を事業における重要テーマと位置づけ、世界各地の水課題の解決に貢献する取り組みを展開していきます。



水を育む自然の保全

日本では2003年から各地の行政や森林保有者と数十年にわたる中長期の契約を結び、サントリー「天然水の森」として水を育む森づくりを行っています。これまで日本では、15都府県、21箇所、総面積約12,000haにのぼり、工場で汲み上げる量以上の地下水を生む森を育てています。

また、フランスでは、メジュー工場の近隣に位置する自然公園グラン・パーク・ミリベ

ル・ジョナージュ(Grand Parc Miribel Jonage)と、20年にもわたる水資源保全活動のパートナーシップを締結し、同公園内に広がる森林の保全活動や子供向け教育プログラムのサポートを行っています。

さらに、スペインでは、地域と共同で Carcaixentにある工場近隣の生態系の保護活動を行ったり、山火事で荒れた森の保全活動を行いました。



日本：社員による水源涵養活動



フランス：ジョナージュ



ベトナム：水育



ナイジェリア・ラゴス：2,000Lの水タンク

世界に広がる次世代環境教育

次世代環境教育「水育」は、2019年で16年目を迎えます。子供たちが自然のすばらしさを体験し、水や、水を育む森の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために何ができるのかを考える、サントリー独自の次世代教育プログラムです。

2015年からベトナムでも「水育」を実施し、これまでに、ハノイ市、ホーチミン市、バクニン市、ベンチュ市、クアンナム省、ランソン省の児童約18,000名が参加しました。2019年には、インドネシアを始め、アジア地域を中心に世界での展開を予定しています。

安全な水へのアクセス

ケニアのナイロビでは、地域の教育や水不足の支援活動を行っているKangemi Resource Centreを通じて、学校へ安全で衛生的な飲料水を供給する支援活動を行っています。

2018年には、ナイジェリアのラゴスの孤児院に、2,000Lの安全な水タンクを寄贈しました。

またベトナムでは「水育」を実施している主な学校のトイレや洗面所などの改修や設置を支援し、衛生環境の向上にも貢献しています。

水使用量削減のため「水の3R」

サントリーグループの工場では、原料としてだけでなく、製造設備の洗浄や冷却用に多くの水を使用します。限りある水資源を大切にするため、出来る限り使う水を少なくする「Recycle(処理をして再生利用する)」、Reuse(繰り返し使う)、「Reduce(使う量を減らす)」を徹底するとともに、排水をできる限り自然に近い状態で自然に還すため、法律よりも厳しい自主基準値を設け、排水品質を徹底管理しています。

“Mizu To Ikiru”世界の活動

地域ごとの水課題をふまえ、世界中のSBFグループで“Mizu To Ikiru”活動を展開しています。



スペイン：社員の子供を対象とした絵画コンクール

スペイン：従業員に配布されたシャワー時間を計る砂時計



ベトナム：幹部社員のMIZUIKU研修

Topics

水を育む自然との共生 ～天然水工場での取り組み～

2020年末、これまでの「南アルプス(山梨県)」、「阿蘇(熊本県)」、「奥大山(鳥取県)」に続く、「サントリー天然水」ブランドの新たな水源として、「長野県大町市」に新たな生産拠点を稼働させる予定です。ここでは、環境配慮

型の設備を目指すことはもちろん、地域との協働により、この地の自然環境を守り、そのすばらしい自然と水を五感で体感できる、まったく新しい体験型施設を設ける予定です。

私たちは今後とも、水を育む自然との共生を目指して様々な活動に取り組んでまいります。



新生産拠点のイメージ図

3年連続「CDP ウォーターセキュリティリスト企業」に選定

企業や都市の重要な環境情報を測定・開示・管理・共有するための国際NPO「CDP」により、水源涵養活動や工場での水使用量削減活動が評価されています。



日本初の「Alliance for Water Stewardship (AWS)」認証

持続可能な水利用に関する認証を「サントリー天然水 奥大山ブナの森工場」が取得しました。

ENVIRONMENT

社会の環境課題に応えるために

当社は、サントリーグループと一体となり、環境経営を推進しています。自然の恵みに支えられている企業の責任として、持続可能な社会づくりに貢献するために、環境負荷低減に取り組んでいます。



2030年環境目標

事業活動において、環境負荷低減の2つの目標を掲げます。

1. 水

- グローバルでの「自社工場」の水使用量：15%削減※1
- ・工場における製造設備・容器の洗浄や冷却に使用する水使用量を削減、水の再利用の推進

※1 2015年における事業領域を前提とした原単位での削減

2. CO₂

- グローバルでの「自社拠点」のCO₂排出量：25%削減※2
- グローバルでの自社拠点以外の「バリューチェーン」全体でのCO₂排出量：20%削減※2
- ・容器の軽量化や、再生素材や植物由来原料を活用した容器の推進
- ・国内最小電力量の自動販売機の積極的な導入

※2 2015年における事業領域を前提とした総量での削減



Science Based Targets (SBT) 認定

当社の「2030年環境目標」の温室効果ガス排出量の削減目標が、パリ協定の「2°C目標」達成のための科学的根拠のある水準として認定されました。

CO₂排出量削減の取り組み

当社の工場では、LNG（液化天然ガス）など、CO₂排出量が低い燃料への転換を図っています。また、太陽光、雪氷、バイオマス、マイクロ水力など、様々な再生可能エネルギーの活用を進めています。

2014年から、更なる環境負荷低減への貢献を目指し、従来の約半分の消費電力量（420kWh/年）で稼動する「超省エネ自動販売機」を導入し、国内最小クラスの消費電力量を実現しています。



天然水奥大山ブナの森工場の雪室



省エネ自動販売機

プラスチック問題への取り組み

当社は、これまでReduce（使う量を減らす）、Recycle（再資源化して使う）、Bio（植物由来の資源を使う）を表す「2R+B」を掲げ、容器素材の軽量化、薄肉化、さらに、植物由来原料のペットボトル導入など、様々な先進的取り組みを実施してきました。

2011年に、メカニカルリサイクル技術による「ボトルtoボトル（BtoB）」のリサイクルを日本で初めて導入以降、長年循環社会への貢献を果たしてきました。

中でも、ペットボトルのリサイクルにおいて、2018年には協栄産業（株）と共同で、より環境負荷を抑え、より効率的にBtoBのリサイクルペットを製造できる「FtoPダイレクトリサイクル技術」を世界で初めて導入しました。

日本では、このような最新技術を活用しながら、中期目標として、2025年までに日本の清涼飲料事業における当社ペットボトル飲料の全製品の半数以上に再生ペット素材を使用していくことを目指します。

また、世界の各グループ会社においても、リサイクル率の向上や、社会インフラづくり、消費者啓発等、地域課題に即した対策を推進しています。

ヨーロッパのLucozade Ribena Suntoryでは、これまでもリサイクルペットボトルの

導入を推進してきましたが、さらに循環型社会への向上を目指して、「The UK Plastics Pact」に参画し、国と産業界が連携した活動を進めています。

オセアニアのFrucor Suntoryでも、「the NZ plastic packaging declaration」の支持を表明し、リサイクルの向上に取り組んでいます。



FtoPダイレクトリサイクル技術

ペットボトルでの環境負荷低減

※2019年2月現在

国産最薄
ラベル12μm
(再生PET80%使用)

ダンボール
(FSC認証紙100%使用)



植物由来原料
100%使用※3
新キャップ

国産最軽量
ペットボトル※4
(植物由来原料30%使用)

※3 主原料であるエチレンを100%植物由来化したポリエチレンキャップ。ただし、製造ライン切り替え時の微量の石油由来成分および着色剤成分を除く

※4 国産ミネラルウォーターペットボトル（500mL～600mL）対象。

サプライチェーンにおけるサステナビリティ活動

サプライチェーン全体において、製品の安全・安心はもとより、環境や社会にも配慮した事業活動を行うべく、ビジネスパートナーとともにサステナビリティの推進に取り組んでいます。2011年には、「サントリーグループCSR調達基本方針」を、また2017年には「サントリーグループ・サプライヤーガイドライン」を制定し、「グローバル調達会議」で、考え方やその実践

についての議論、周知を行っています。また、調達先における取り組みを把握するために、毎年アンケートを実施したり、ウーロン茶や果汁原料等の調達先を訪問して、児童労働・強制労働などの人権課題に関するヒアリングを行う等、モニタリング活動も行っています。



サプライヤーガイドライン

♡ HEALTH & WELLNESS

人々のより健康的なライフスタイルに貢献するために

日本で培った“ナチュラル&ヘルシー”な開発知見を活かして世界中のお客様に“Enjoyable Wellness”を提供します。



SBFの強みである“ナチュラル&ヘルシー”ポートフォリオの拡充

長い間、炭酸飲料を中心とした砂糖を多く含んだ飲料がお客様に求められ、拡大してきた世界の飲料市場ですが、昨今ではより自然で健康的な飲み物を求めるニーズが加速しています。

日本は、“ナチュラル&ヘルシー”な飲料の先進市場であり、長年培ってきたお茶、水といった無糖飲料や低糖飲料の開発知見を活かし、インドネシアにおける「goodmood」、フランスにおける「MayTea」といった新たな飲料の開発を実現させています。2019年には、インドネシアで生まれた「goodmood」がベトナムとタイでも発売されました。

また、ヨーロッパの「Lucozade」、「Ribena」

を中心に、レスシュガー化を積極的に推進しています。今後も世界に広がるロングセラーブランド、技術やノウハウのシナジーを活かし、世界に向けて“Enjoyable Wellness”の提供を目指します。



インドネシア「goodmood」



低糖プレミアムアイスティー
フランス「MayTea」

より健康的なライフスタイルの提案

日本では、「健康で、前向きに、自分らしく生き続けたい」と願う方々に寄り添い、サポートできる企業でありたいという想いのもと、昨秋より「100年ライフ プロジェクト」を始動しました。「外部専門機関との共同研究」、「生活習慣病対策飲料の開発・ポートフォリオ強化」、「生活習慣改善プログラムの提供」などを進めています。

また、ヨーロッパでは、『Moving on Health and Wellbeing』レポートを発行し、「約100万人に運動を促す」「自分たちの主なプラン

ドから砂糖の使用量を半分にする」「従業員と協力して、オフィスの健康プログラムを再構築する」「職場での肉体的・精神的な幸福(wellbeing)」を推進しています。当社はこれからも飲料商品を軸に、美味・健康の観点から世界の健康課題の解決に貢献していきたいと考えています。



100年ライフプロジェクト



Moving on Health and Wellbeing

PEOPLE

社員と社会のより良い成長のために

サントリーグループでは、人材の多様性を推進する「ダイバーシティ経営」を基本方針としています。世界中で、多様な個性・人材がサントリーらしい自由闊達な風土の中で、生産性高く、イキイキと働けることを目指しています。



理念の共有・浸透 — 「やってみなはれ」「利益三分主義」「One Suntory」

国内外の全てのグループ会社を対象に、「やってみなはれ」をはじめとする創業精神や企業理念について、理解、浸透を図るための活動を行っています。経営トップ自らが国

内外の事業所を訪問し、自らの言葉で創業精神やビジョンについて語る「Town Hall Meeting」なども積極的に行っています。



スペイン：従業員と「YATTE MINAHARE」

Global人材の育成・登用と人材交流 — 全社員型タレントマネジメント

グローバルで活躍できる人材の発掘・育成・活用に向けて、グループを超えて、タレントレビューを実施しています。国や事業を超えた人材交流の検討を行い、幅広い成長機会を提供することで人材のキャリア・ディベロップメントを推進しています。

また、サントリーグループでは、専門のアドバイザーによるキャリア個別相談やワークショップを通して、従業員一人ひとりの自立的なキャリア開発を支援するなど、全社員型タレントマネジメントを実施しています。



タイ：「One Suntory Walk」イベント

Topics

「健康経営優良法人2019 (大規模法人部門)～ホワイト500～」に認定

サントリーグループは、従業員が健康でイキイキと働くことは企業としての競争力の源泉そのものと考え、「健康経営」と「働き方改革」を掲げ、従業員とその家族の健康維持・増進に取り組んできました。様々な取り組みが評価され、当社は経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)～ホワイト500～」に、サントリーホールディングス(株)とともに認定されました。



「ベトナムでサステナブルな事業TOP3」、「Asia Human Resources Development Awards 2018」に選出

Suntory PepsiCo Vietnam Beverageは、ベトナム商工会議所(VCCI)から、2018年の「ベトナムにおける持続可能な事業のトップ3」に選ばれました。3度目の受賞になります。

また同社は、アジアにおいて人的資源の開発を通してコミュニティに好影響を与えた企業等を表彰する「Asia Human Resources Development Awards 2018」に選出されました。

